

ビジネス

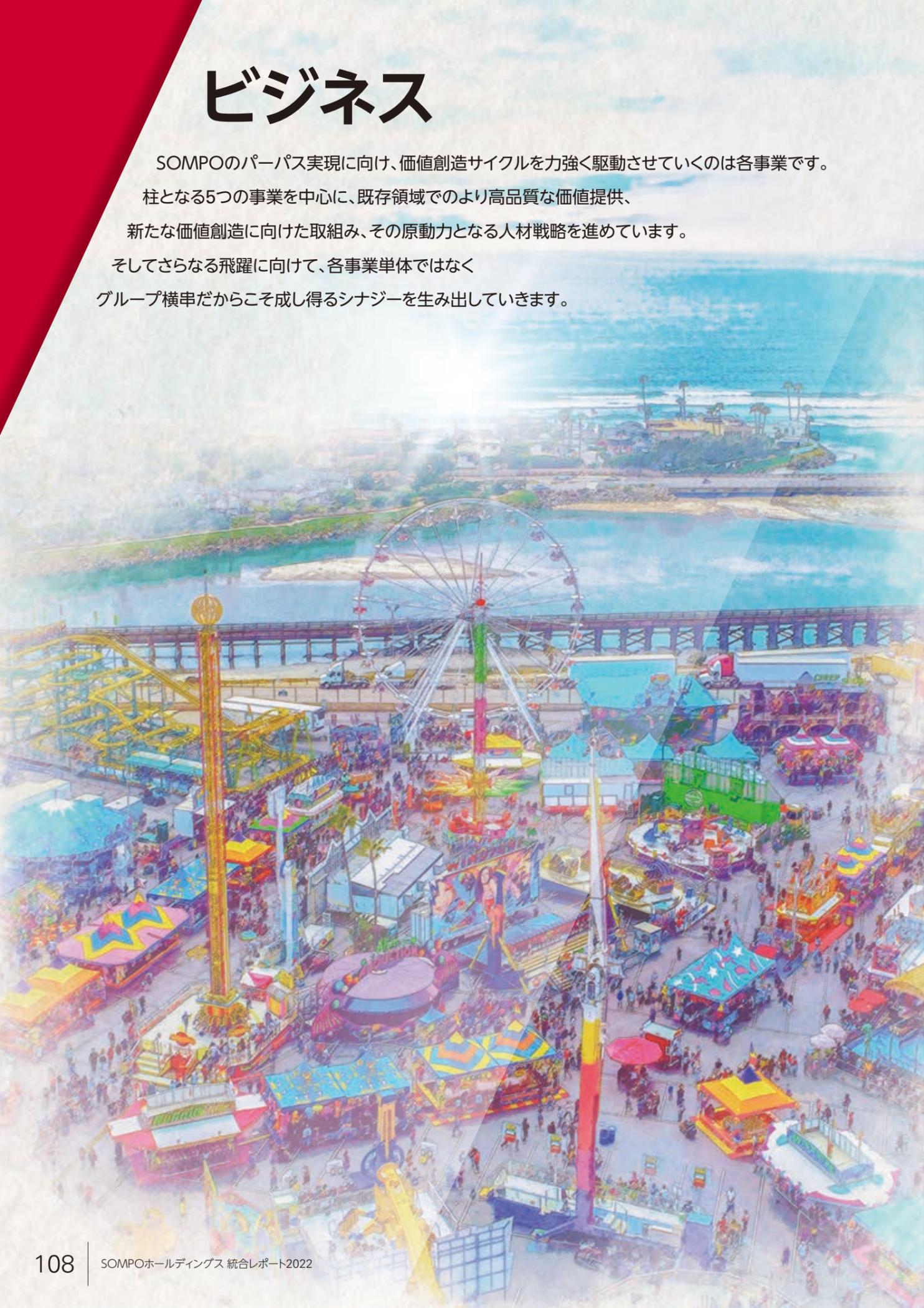
SOMPOのパーパス実現に向け、価値創造サイクルを力強く駆動させていくのは各事業です。

柱となる5つの事業を中心に、既存領域でのより高品質な価値提供、

新たな価値創造に向けた取組み、その原動力となる人材戦略を進めています。

そしてさらなる飛躍に向けて、各事業単体ではなく

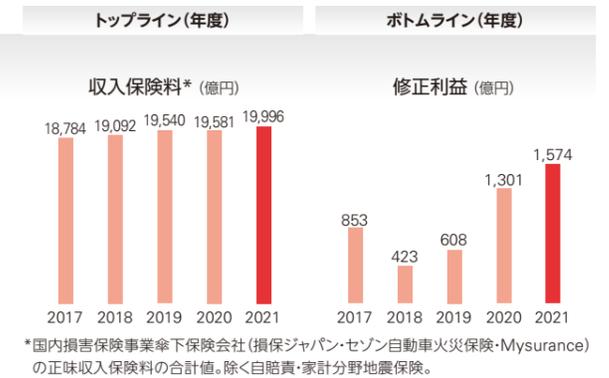
グループ横串だからこそ成し得るシナジーを生み出していきます。



At a Glance

国内損害保険事業

損保ジャパンを中心とする本事業では、激しい事業環境の変化の中でも安定的かつ持続的に成長を続けるべく、お客さまの声をもとにした商品開発や、AIを活用したアンダーライティング機能強化などに取り組んでいます。また、新たな価値創造に向けては、モビリティ、防災・減災、自動運転などの分野でのサービス開発を進めています。



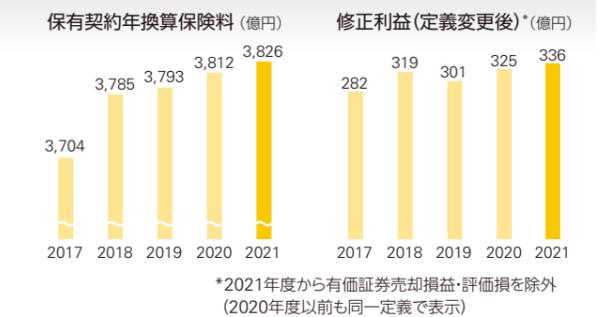
海外保険事業

SOMPOインターナショナルは29か国で事業を展開し、世界最大のマルチナショナル農業保険をはじめとする多様なサービスをグローバルに提供するなど、グループ全体の規模拡大やポートフォリオ分散を牽引しています。さらに、サイバーや再生エネルギーなど社会が直面するニューリスクに焦点を合わせ、新たな顧客価値創造を通じイノベーションを推進しています。



国内生命保険事業

SOMPOひまわり生命では、お客さまが健康になることを応援する健康応援企業として、保険本来の機能(Insurance)に、健康を応援する機能(Healthcare)を組み合わせた、従来にない新たな価値「Insurhealth®」を提供しています。保険本来の機能と、Healthcare(健康応援)を一体化することで、お客さまの「万が一」を可能な限りなくしていくことに取り組んでいます。



介護・シニア事業

SOMPOケアを中核とする本事業では、施設から在宅まで幅広く対応可能なフルラインナップの介護サービスをお客さまにお届けします。そして新たな価値創造に向け、テクノロジーやリアルデータを活用した高品質なサービスの創出、近接業界や他の事業者を巻き込んだエコシステムを構築すると同時に、介護が必要になる前の高齢者を支援する事業を展開していきます。



デジタル事業

2021年度はSOMPO Light Vortexを設立し、デジタルを基点とした新規事業の創出・展開・管理を行うとともに、当社グループのデジタル技術開発の支援、有望なスタートアップ企業への投資などを行う体制を整備しました。また、当社はリアルデータの活用やRDPの開発に向けて、米国のソフトウェア・プラットフォームカンパニーであるパランティアと共同で設立した日本の合併会社であるPalantir Technologies Japanと共同で独自のビジネスモデルの開発に向けて、取組みを進めています。

コングロマリット・プレミアム創出に向けたプロジェクト

SOMPOグループでは、国内損害保険、海外保険、国内生命保険、介護・シニア、デジタルという5つの柱を中心に、各事業がリーダーシップを持ち力強く価値を創出してきました。それらを支える仕組みが2016年に導入した事業オーナー制であり、事業オーナーに事業戦略立案・投資判断・人材配置などの実行に際しての大きな権限を付与することで遠心力を効かせ、スピード感を持った意思決定、業務遂行を可能としてきました。

そしてここからさらなる飛躍を遂げるためには、求心力を強く各事業単体ではなくSOMPOグループ一体だからこそ可能となる合理的なリスクテイクを実現し、コングロマリット・プレミアム(グループシナジー)を創出することが不可欠であると考えています。具体的には、「つなぐ・つながる・つな

げる」をキーワードにグループとしてのリスクテイクの最適化を通じ財務メリットを享受することだけでなく、多様な事業を展開する中で得られたデータやノウハウをグループ間でつなぎ合わせ、新たなサービス・ソリューションを提供することを通じ、お客さまや社会に大きな価値を生み出すことを目指します。

SOMPOは、このようなコングロマリット・プレミアム創出に向けたプロジェクトを推進するため、グループにおける執行部門の最上位の会議体であるGlobal ExCoの傘下にステアリングコミッティを組成し、グループCOOを責任者とし各事業オーナー、グループCFO/CSO、グループCHROが参画する本組織で取組みを進めています。

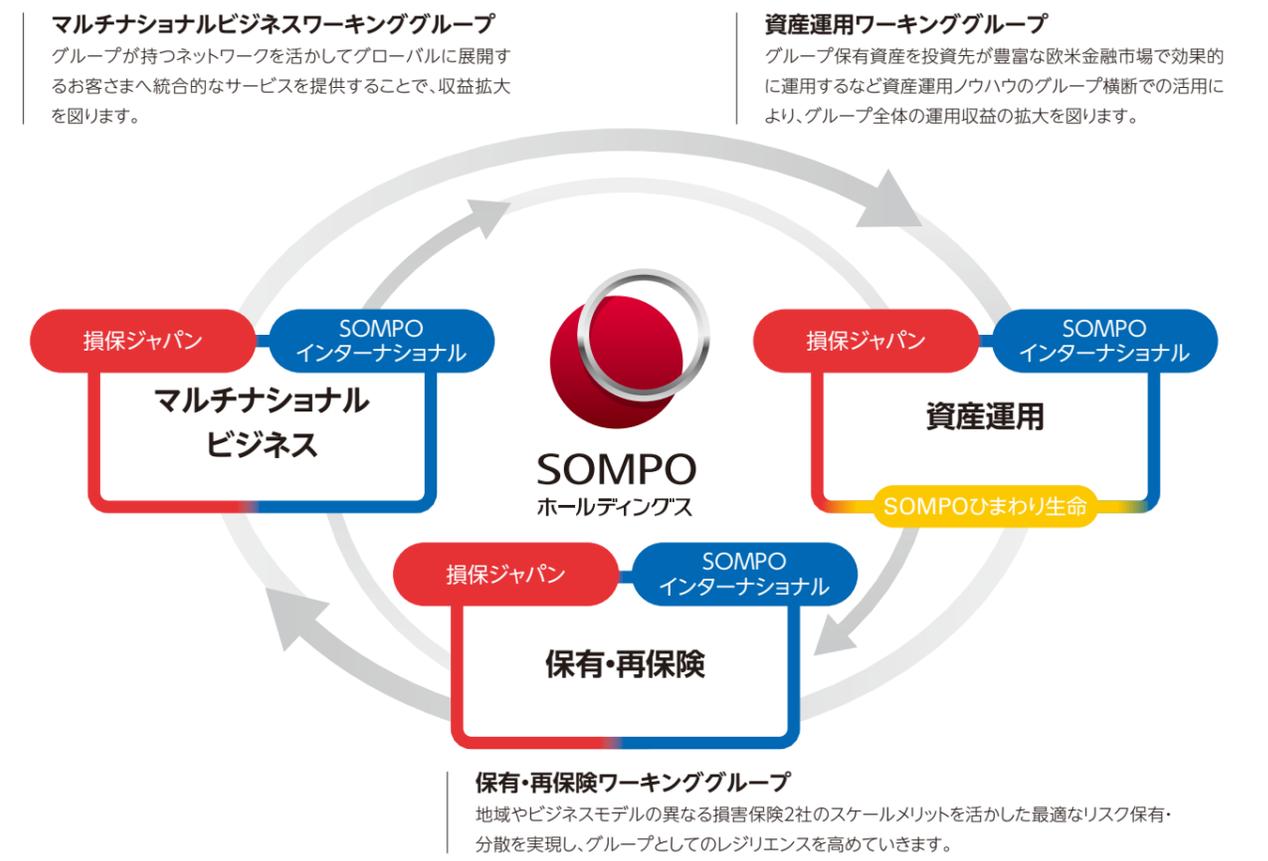
組織図/体制図



ワーキンググループでの具体的な取組み

コングロマリット・プレミアム創出を具体的に進めていくために、ステアリングコミッティの傘下にワーキンググループを設置し、グループベストを徹底的に追求しています。ワーキンググループは、まずは早期に効果を発揮しうる事業を対象として、「保有・再保険」、「資産運用」、および「マルチナショナルビジネス」の3つの分野でスタートしました。

「保有・再保険」においてはグループベースでのリスク保有最適化や再保険カバーの見直し、「資産運用」においてはスケールメリットを活かした追加でのリスクテイクやグループ余剰資本の活用、「マルチナショナルビジネス」においてはプラットフォームの構築、システム・デジタルの共同活用・クロスセルのさらなる深化といった検討を進めています。



Sompo International, Executive Vice President, Head of SI Tokyo Office兼
SOMPOホールディングス 執行役員常務 グローバル経営推進部長

ケネス・ライリー

SI Tokyo Officeは国内事業と海外事業の総合力を活用することが重要なミッションの1つであり、グローバルな取組みの推進およびマネジメントにおいて主導的な役割を担っています。

ワーキンググループでは、SOMPOホールディングスとグループ会社のメンバーが連携して知見や情報を共有し、オープンに意見交換を行っています。事業オーナーとCxOで構成されるステアリングコミッティでは、ワーキンググループからの提言をふまえて実質的な議論を行い、実施・執行に向けた最適な道筋を決定していきます。

常に変化するマーケットにおいては機動的であることが求められますが、同時に、リスクおよび機会を念頭に、お客さま、従業員、ビジネスパートナー、株主に対するコミットメントに重点的に取り組んでいきます。SI Tokyo Officeはグループのコアバリューを高める機会を追求するとともに、社内のコミュニケーションを強化し、組織の総合力を活かしていきます。

国内損害保険事業

SOMPOのパーパス実現に向けた国内損害保険事業の価値創造

国内損害保険事業の創出する社会価値は、「いかなる時代も社会・人々が直面するリスクから人々をお守りすること」、そして「持続可能な社会の実現に貢献すること」です。

社員の幸せや働きがいをベースとして、保険事業とその先にある「安心・安全・健康」の領域で、お客さまにとって価値ある商品・サービスを創造していくことで、社会に貢献していきます。

中期経営計画において目指す姿

国内損害保険事業では、新たな顧客価値の創造、社会課題の解決に資する新事業の創造およびこれらの事業の収益化を目指していきます。また、その基盤となる企業文化の変革を推し進めていくことで、「多様性のある社員一人ひとりが

創造性・独創性を発揮し、お客さまの立場ですべての価値判断を行い、スピーディに決断と実行を行うことのできる組織風土」を醸成していきます。

Vision	すべての人々・地域・社会に、たくさんの笑顔と活力あふれる確かな明日をお届けします
Mission	社員の幸せや働きがいをベースとして、保険事業とその先の安心・安全・健康の領域で、お客さまにとって価値ある商品・サービスを創造し、社会に貢献していく
ブランドスローガン	Innovation for Wellbeing

SOMPOのパーパス
"安心・安全・健康のテーマパーク"により、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現する

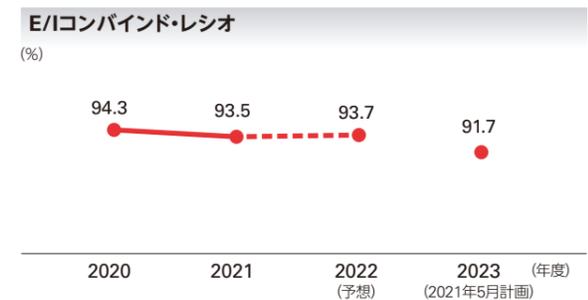
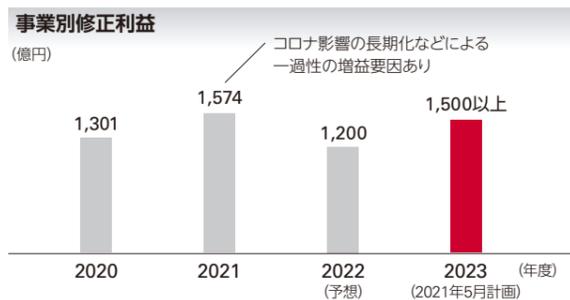
安心・安全・健康のテーマパークの実現

共創志向にもとづく既存ビジネス領域における戦略

国内損害保険事業は、自然災害の多発化・激甚化や自動車保有台数の減少などの事業環境の変化の中においても、お客さまやパートナー企業との共創にもとづき、安定的かつ持続的に成長し続けることのできる事業構造の維持・構築を目指しています。

2021年度には、お客さまの声をもとに生まれた『入院パスポート』や『UGOKU(移動の保険)』等の新商品の販売を開

始したほか、Palantir Technologies JapanのAIを活用したアンダーライティング機能強化などの収益構造改革に取り組み、事業別修正利益は1,574億円と当初計画を上回る結果となりました。2022年度は、営業現場へのAI機能の展開や、事故対応時のAI活用による生産性向上など、収益性向上に向けた取組みを加速させていきます。



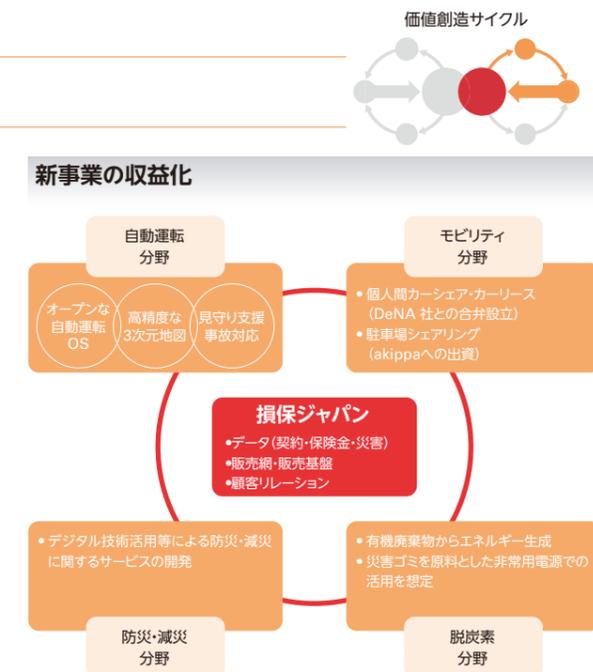
* 損保ジャパン単体。除く自賠責・家計分野地震保険。

新たな価値創造に向けた戦略

新たな価値創造に向けては、損害保険事業と親和性の高いモビリティ、防災・減災、自動運転、脱炭素などの分野で、中長期的な収益源の拡大を目指し、具体的な取組みを進めています。

自動運転分野では、2022年2月に、株式会社ティアフォー、アイサンテクノロジー株式会社および国立大学法人東京大学と連携して、国内初となる「自動運転システム提供者専用保険」を開発しました。

引き続き、脱炭素に向けたソリューションの開発や、防災・減災に関するサービス開発など、新たな価値の提供に挑戦していきます。



カルチャー変革につながる基盤強化戦略

損保ジャパンは、社員の幸せや働きがいをベースとして、保険事業とその先の安心・安全・健康の領域で、お客さまにとって新たな価値ある商品・サービスを創造し、社会に貢献していくことを目指しています。

社員がより働きがいをを感じるための具体的な取組みとして、2021年度には、社員のアイデアから生まれた社内副業制度「SOMPOクエスト」や、フルリモートで業務を行うことを前提として転居を伴わずに自らが希望するポストに応募できるジョブ・チャレンジ制度「リモートチャレンジコース」などの制度を新設しました。

今後も、お客さまへの新しい価値提供に向けてイノベーションを起こすための人材育成を一層進めるとともに、「働き方・仕事のやり方改革」を通じて、一人ひとりがモチベーション高く活躍できる、もっと「働きがいをを感じる会社」を目指します。



MYパーパスにもとづくチャレンジ



ビジネスデザイン戦略部
 リーダー
 渡部 達也

昨今の著しい技術進化と社会問題の多角化により損害保険業界にも大きな変革が求められている中、新しい収益源を確保していくために、特に親和性のあるモビリティ分野や防災・減災への取組みを進めてきました。例えばマイカーリースのサービスは損害保険事業との親和性も高く、代理店さんがお客さまに新たなクルマの持ち方を提案することで自動車保険の獲得にもつながっており、今後もさらなる利便性向上につなげていく想定です。引き続き国内損害保険事業の収益拡大と、安心・安全・健康のテーマパークの具現化に貢献していきたいと思っております。

海外保険事業

SOMPOのパーパス実現に向けた海外保険事業の価値創造

SOMPOインターナショナルは、高品質な保険および保険関連サービスの提供を通じて、お客さまや社会全体の安心・安全・健康に貢献しています。

SOMPOインターナショナルは、グループの海外保険事業の担い手として、新商品の導入や新たな地域への進出による収益性の向上、事業規模を活用した競争優位性の確立およびお客さまからの信頼の確保に取り組むことにより、グループ全体の規模の拡大とポートフォリオの分散を推進していきます。また、社会が直面する将来のリスクへのソリューションに焦点を合わせ、新たな顧客価値創造を通じてイノベーションを推進し、2023年度までにグループ全体収益の3分の1に相当する10億米ドルの貢献を目指します。

中期経営計画において目指す姿

海外保険事業では、引き続きインターナショナルクライアント（法人・個人）への対応、質の高い顧客サービス、将来に向けた収益性の高い新たなビジネスチャンスの発掘および開拓に注力しています。また、グループの成長とリスク分散の原動力としての役割を認識し、経済的価値の創造と基盤強化を図りつつ、社会的価値を提供するというグループの取組みをサポートしていきます。

SOMPOインターナショナルでは、お客さまおよび関

係者をすべての中心に据えており、マーケットにおいても、より力強く日々その存在感は増しています。今後も事業の戦略目標達成に向けて、最適な人材およびツールに投資し、世界でのブランド認知度向上に貢献していきます。そして事業拡大および持続可能な成長に注力するなか、新たな地域体制により、保険引受能力、市場専門性、リスクアペタイトの一貫性をより一層活用し、世界各国でのビジネスを円滑にしていきます。



規模と分散について

当社グループの損害保険事業グロス保険料約350億米ドルのうち、138億米ドルをSOMPOインターナショナルが占めています。当社は、世界最大のマルチナショナル農業保険を含む30以上の種目で構成される多様なポートフォリオを

提供するトップ・プロバイダーです。29カ国で事業を展開し、マルチナショナル・プラットフォームを通じて100カ国以上にアクセスするSOMPOインターナショナルの商品とサービスには次のものが含まれます。

Global Agriculture	AgriSompoの統合プラットフォームを通じて農家、牧場経営者、農業サプライヤー、その他の保険会社およびアグリビジネスに、伝統的、革新的な農業保険と生産性ツールを提供するGlobal Agriculture
Global Claims Service	保険引受プロセスにも組み込まれた、経験豊富な専任担当者によるGlobal Claims Service
Global Commercial Insurance	北米、EMEA、中南米、アジア太平洋の地域プラットフォームを通じて損害保険商品を提供するGlobal Commercial Insurance
Global Consumer Insurance	ローカルマーケットに適した高品質の個人向けソリューションを含むGlobal Consumer Insurance
Global Reinsurance	世界の主要マーケットにおいて幅広く、専門性の高い再保険商品を提供するGlobal Reinsurance

ニューリスクに対する保険の提供

SOMPOインターナショナルは、グローバル企業の一員としてのコミットメントおよび責任を果たすとともに、お客さまのニーズに応えるためのイノベーションに取り組んでいます。これまで農業保険事業において世界の主要マーケットにおける「飢餓のない」社会や農家の経済的継続性に向けた支援に取り組んできたように、商品・サービスを活用する機会を最適化して、地域の問題に対応していきます。

また、SOMPO Digital Labと提携し、革新的で市場をリードするマルチナショナル、サイバー、デジタルコマース保険プラットフォームおよびリスクコントロール・ソリューションの開発にも取り組んでいます。



One Sompo One Energyの取組みとして、世界的なパンデミックからのグリーンリカバリーに向けて、再生エネルギー事業を拡大しています。One Sompo One Energyではエネルギーの上流と下流（アップストリーム・エネルギー、ダウンストリーム・エネルギー）、従来型電力、そして再生可能エネルギーを一体でとらえ、お客さまのシームレスなエネルギー移行をサポートしていきます。

すべてのステークホルダーのために収益性の高い組織を創り出すことにより、革新的な保険ソリューションを市場にもたすことができ、それらが当社、ひいては世界の持続可能な未来の構築へとつながっていきます。

I&Dが生み出すイノベーション

SOMPOインターナショナルには壮大な成長プランがあります。当社はインクルーシブな文化の中でこそ、イノベーション、的確な意思決定、最適な人材の確保が可能だと考えています。引き続きインクルーシブで多様な労働環境の構築に投資し、この分野の進展に取り組んでいきます。

またSompo Women in Insurance Management (SWIM) プログラムの立上げに加え、育児休暇や有給休暇制度をグローバルに強化し、インクルーシブな採用活動を行っています。Inclusive Diversity Councilでは、インクルーシブ・ダイバーシティの枠組みを実行するための土台作りを進めており、将来に向けた多様な人材パイプラインの構築に向けて、強固なインターンおよびトレーニングのプログラム開発に引き続き取り組んでいます。

SOMPOインターナショナルでは、私たちのストーリーは人から始まります。当社では社員同士、お客さま、ブローカー、ビジネスパートナーとの協力的・生産的な関係を重視し、一人ひとりの貢献を大切にしています。そして多様性の尊重、イ

ンクルーシブな組織デザインの浸透、この分野に関する学びと発展に向けた機会の提供、少数派グループへの積極的なサポート、人々の声を届けることに取り組んでいます。

Inclusive Diversity Councilでは、これまでの取組みをさらに前進させ、インクルーシブ・ダイバーシティを組織のあらゆる側面に一層浸透させていきます。すべてのシニアリーダーは、組織全体にインクルーシブ・リーダーシップをさらに浸透させるプログラムであるInclusive Leader Journeyに参加しています。また、当社はEverywoman in Insurance Forum、Dive In（保険業界におけるインクルージョンおよび多様性の世界的フェスティバル）、African Caribbean Insurance Network (ACIN) への後援、貢献を行っているほか、スポットライトシリーズ（社員が自身のバックグラウンドや業界トピックなどについてインタビュー形式で紹介する社内向けコンテンツ）を通じて組織全体の多様な人材を紹介、尊重しています。



アイラ・ベイラー
Executive Vice President,
Global Head of Talent
and Inclusion

SOMPOインターナショナルのエンゲージされ、インクルーシブでハイパフォーマンスな企業文化の構築に携わることは、心躍るものです。インクルーシブ・ダイバーシティはSOMPOインターナショナルがトップ10の保険会社になる過程の成長、スケール、人材、適切性のストーリーにおいて、重要な役割を担います。この分野における取組みは当社の成功の鍵となっています。なぜなら、社員一人ひとりが当社を際立たせる存在であり続けるからです。

国内生命保険事業



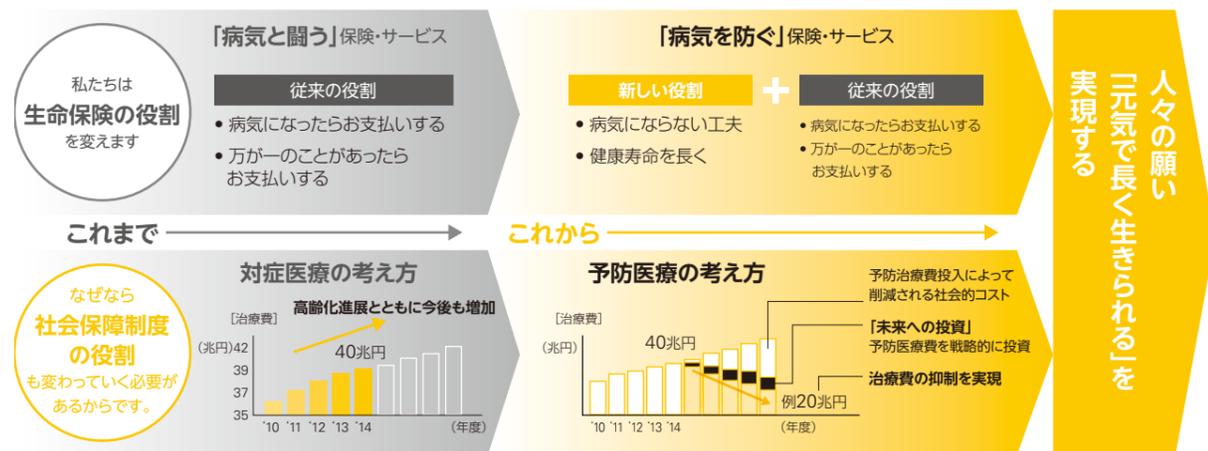
SOMPOのパーパス実現に向けた国内生命保険事業の価値創造

生命保険は元来、社会保障制度の補完的役割を担ってきましたが、少子高齢化といった社会課題が発現し、私たちを取り巻く環境は大きく変わっています。対症医療と対をなす従来のリスクマネジメントだけではなく、予防医療にも対応し、健康寿命を延伸するウェルネスマネジメントの両方へ保障のかたちを変えるべきだと私たちSOMPOひまわり生命は考えました。SOMPOのパーパス実現に向け、「健康応援企業の確立」を目指します。

中期経営計画において目指す姿

健康で笑顔あふれる未来社会創りのため、SOMPOひまわり生命は、生命保険事業を行う「健康応援企業」として、国民の一人ひとりが健康になることを応援します。「健康応援企業」への変革とは、生命保険の伝統的な役割である「万が一」への備え(Insurance)と、「毎日」に寄り添って健康を

応援する機能(Healthcare)を組み合わせ、従来にない新たな価値「Insurhealth®(インシュアヘルス)」をお客さまに提供し、人生100年時代におけるお客さまの豊かな人生や夢の実現をサポートできる存在になることです。



保険が人を健康にするインシュアヘルスの時代へ

1 共創志向にもとづく既存ビジネス領域における戦略

「高いコンサルティング提案力」「健康応援の実現」「お客さま本位の業務運営」を兼ね備えた当社の最高品質の生命保険募集人をHLアドバイザーに認定しています。お客さまに寄り添うHLアドバイザーを中心とし全国の代理店・募集人とともに、生命保険の伝統的な役割である「万が一」への

備え(Insurance)と、「毎日」に寄り添って健康を応援する機能(Healthcare)を組み合わせ、従来にない新たな価値「Insurhealth®」によって顧客を創造することで成長を確かなものにしていきます。このような取り組みにより、私たちは高いお客さま満足度を実現しています。



2 新たな価値創造に向けた戦略

私たちは、これまで進めてきた、健康応援企業へのトランスフォーメーションを加速化させる鍵がDXであると考えています。新たなテクノロジーや社内外のデータの活用を一層強化することで、お客さまに提供するInsurhealth®の価値の最大化と、個々のお客さまへの提案の最適化を実現させ、お客さま

を健康に導いていきます。この実現のために、アプリやサービス機能を継続的に拡張させ、お客さま一人ひとりに寄り添っていくことができるように付加価値を高めていきます。これらの一連の取り組みによって、当社を支持していただける新しいお客さまを増やし、次の成長へとつなげていきます。



3 カルチャー変革につながる基盤強化戦略

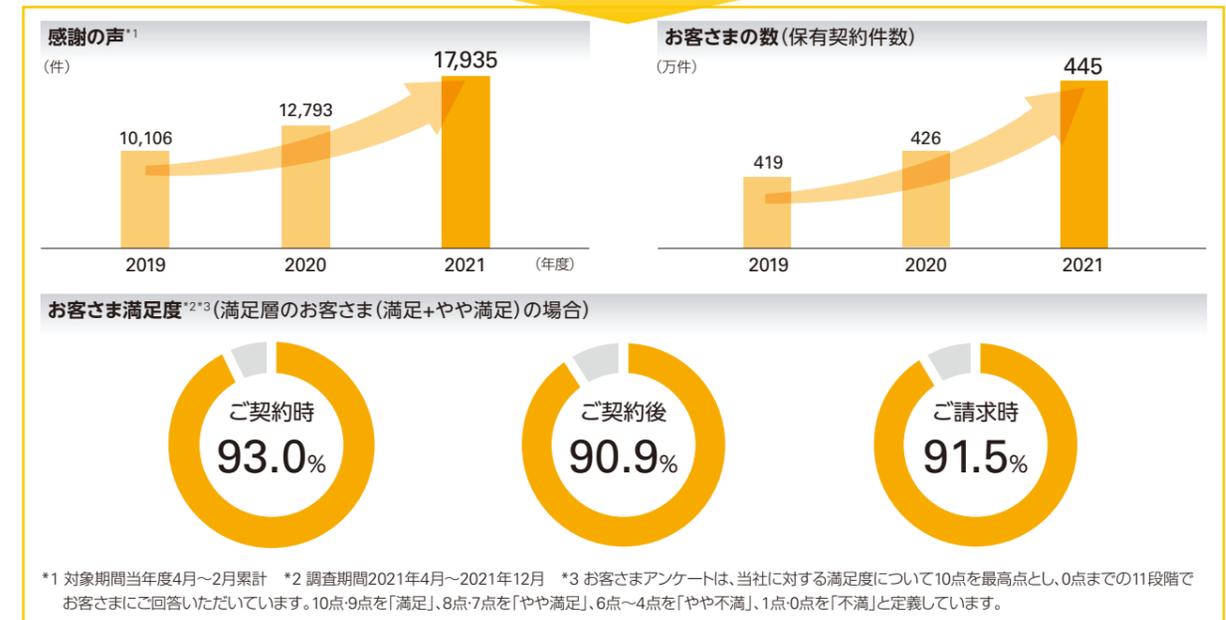
(1)MYパーパスの作成・共有

社員の働きがい・生きがいを向上させるために、1on1などを通じてMYパーパスの作成支援を行っています。また、それぞれの社員が自らのMYパーパスや自己研鑽状況などを発信できるシステムを展開し、1,600名以上がMYパーパスを社内公開しています。

(2)職場単位のパーパス

MYパーパスと職場単位のパーパスのつながりがイメージできるように、各職場は存在意義や目指す姿を記載した「部署ナビ」を社内公開しています。これにより、希望部署にチャレンジできる「ジョブ・チャレンジ制度」などの実効性が向上しています。

1 2 3 の戦略遂行の成果



MYパーパスにもとづく「健康応援企業の確立」に向けたチャレンジ



経営企画部 課長
榎葉 良子

多様性が当たり前になることで、誰もが活躍し自分らしい人生を楽しめる社会をつくりたいという想いのもと、伝統的な生命保険会社像から脱却し、保険が人を健康にするInsurhealth®(インシュアヘルス)の時代を切り拓くべく、「健康応援企業の確立」という前例なき挑戦に日々取り組んでいます。変革への道筋には正解がなくチャレンジングですが、Wellness for Happinessをスローガンに健康寿命延伸による社会課題解決を通し、SOMPOのパーパス実現へグループを牽引していきたいと考えています。

介護・シニア事業

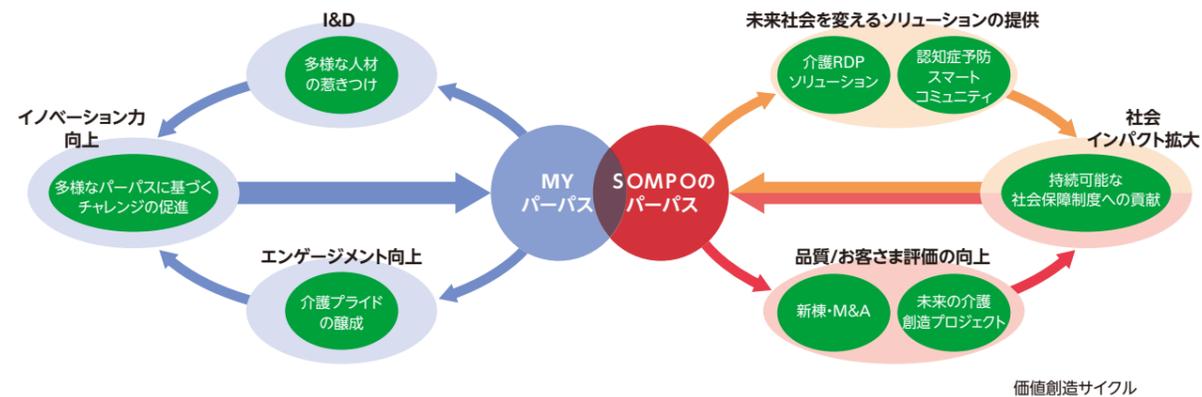
SOMPOのパーパス実現に向けた介護・シニア事業の価値創造

急速に進展する高齢化に伴い、介護を必要とする高齢者は増加し、今後も国内の介護市場は拡大することが見込まれています。その一方で、介護現場を支える介護職員の不足は解消されていません。SOMPOケアは「介護の未来を変えていく」をスローガンとして掲げ、この社会課題や外部環境変化に対し、「既存ビジネス領域の拡大」「新たな価値の創造」「MYパーパスに基づくイノベーション力の向上」の3つの方向で取組みを進めることで、持続可能な社会保障制度の構築に貢献するとともに、SOMPOのパーパスである「安心・安全・健康のテーマパーク」により、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会の実現に貢献していきます。

中期経営計画において目指す姿

中期経営計画では、SOMPOケア発足後初となる新棟の建設やM&Aの実施、介護RDPをはじめとする新たな価値創造へのチャレンジ、それらを支える介護職員の処遇改善などパーパス実現に向けた第一歩を踏み出しました。2023年度

までにさらに取組みを加速させ、SOMPOのノウハウ・サービスを磨き上げるとともに、それらを業界に届ける仕組みの構築にチャレンジしています。



共創志向にもとづく既存ビジネス領域における戦略

「Future Care Lab in Japan」で実証された安全で品質の高いテクノロジーの活用やリアルデータを活用した科学的介護の推進により未来の介護モデルを構築し、処遇改善を通じた質の高い人材確保により介護サービスの供給力を高めていきます。高い供給力を基礎として、自社開発と戦略的なM&Aを効果的に組み合わせて、在宅介護から施設介護まで

のフルラインナップサービスを拡充するなど、自社の成長を通じて拡大する介護需要を支えていきます。21年度には未来の介護モデルをSOMPOケアの25施設に展開、22年4月には新棟の開設、ネクサスケアのM&Aを実施するなど着実に取組みを進めています。



新たな価値創造に向けた戦略



介護RDPとソリューション事業により、SOMPOのリアルデータとリアルサービスを介護事業者や近接業界に広げていくことでエコシステムを構築し、業界全体の持続可能性に貢献し、より多くの高齢者を支えていきます。

また、介護が必要な方だけでなく、介護が必要になる前の高齢者へのサービスとして、認知症サポートプログラムやスマートコミュニティ事業を展開することで自分らしく豊かに生きる社会の実現に貢献し、健康寿命の延伸、社会保障給付費の抑

制にチャレンジしていきます。

21年度には、ソリューション事業は500以上の介護事業所への展開を実施、介護RDPIはSOMPOケアの一部の施設やパートナー企業への提案を実施しています。また、認知症予防プログラムのトライアルや会津若松市をはじめとする自治体とスマートコミュニティ事業の協業にも取り組んでおり、新たな価値を社会に届けられるようチャレンジをしています。



カルチャー変革につながる基盤強化戦略

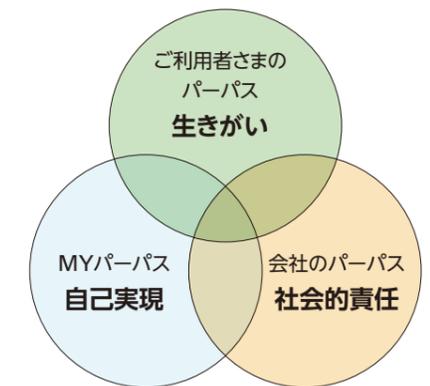


介護は「ご利用者さまお一人おひとりに寄り添い、人生の終盤に彩りを添える仕事」であると同時に、さまざまな社会課題に直面することも多く、その課題解決に使命感を持つ職員も多く在籍しています。

ご利用者さまの生きがいと職員のMYパーパスを重ねながら、情熱や想い・誇りを持って仕事に取り組むことができれば、高い専門性と豊かな心の態度である「介護プライド」が醸成され、当社の社会価値創造に寄与すると考えています。

当社ではMYパーパスを探求・深化する1つの機会として、「パーパスマネジメント道場」を実施しています。今年度は部長層に、その後課長層にも拡大することで、各組織がパーパスドリブンの働き方となり、さまざまなイノベーションが生まれると考えています。

ご利用者さま、会社のパーパスとMYパーパスを重ねながら、情熱や想い・誇りを持って仕事に取り組む職員が介護・シニア事業の基盤



MYパーパスにもとづく「介護業界のイメージを変える」チャレンジ



人事部 人事企画課リーダー 下田 久美子

私のパーパスは、たとえ高齢になっても、介護が必要になっても「住みたい場所」で「受けたい介護」を受け、最後まで自分らしく、楽しいと思える人生を迎えられる社会を実現していくことです。そのためには、介護業界のイメージを変えることが必要であり、社内外ともに介護業界に携わる方々の魅力向上に資するパーパス浸透に尽力していきたいと思っています。職員が誇りや生きがいを感じながらご利用者さまと接することは、ご利用者さまが自分らしくいきいきと過ごすことにつながると考えています。

デジタル事業

SOMPOのパーパス実現に向けたデジタル事業の価値創造

お客さまの「安心・安全・健康」な暮らしの実現、SOMPOのパーパスの実現、そしてSDGsへ貢献していくために、デジタル・AI・データ解析技術などを駆使し、リスクの可視化による行動変容の促進、健康に資する各種サポートによるQOL (Quality of Life) の向上および女性が活躍できる健康支援などの新たな顧客価値を提供していきます。

中期経営計画において目指す姿

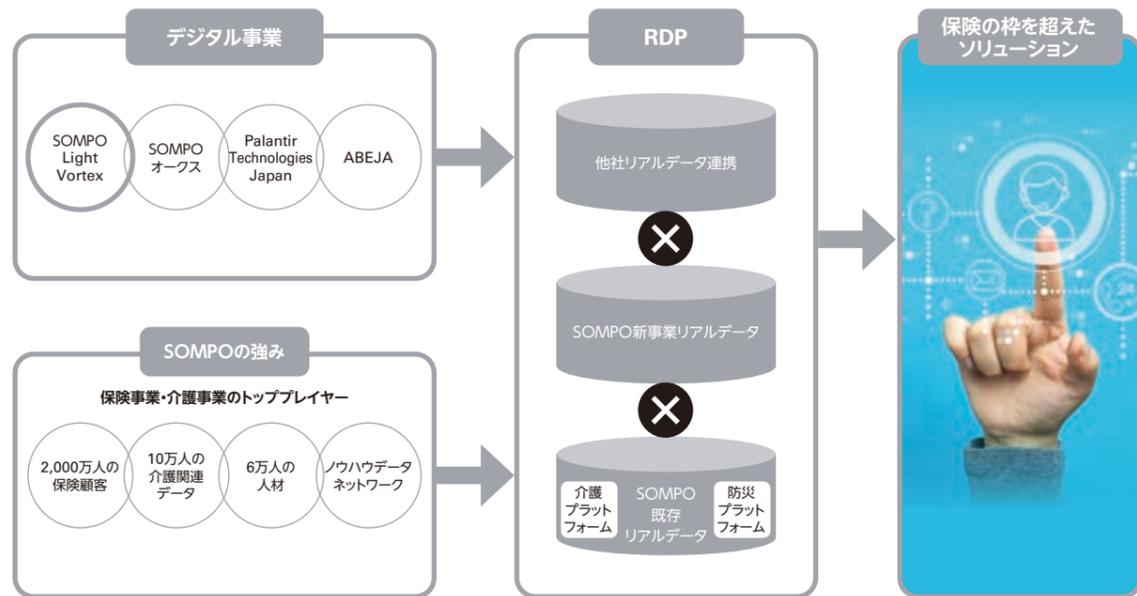
保険は、もしものときの備えとして事故やけが、病気が発生した際に保険金をお支払いすることで安心を提供するものですが、そうした不測の事態を事前に予測し、予防することで「事故をなくす」「災害をなくす」「病をなくす」にチャレンジし、

社会のデジタルトランスフォーメーションを通じて「保険が必要ないほどの安心・安全・健康な世界」を創っていくことを目指していきます。

共創志向にもとづく既存ビジネス領域における戦略

SOMPO Light Vortexを中心に、BtoBオークション事業会社であるSOMPOオークス、データプラットフォームソフトウェアカンパニーであるPalantir Technologies Japanと、AI・データ解析に優れたABEJAの4社は各社の強みを活か

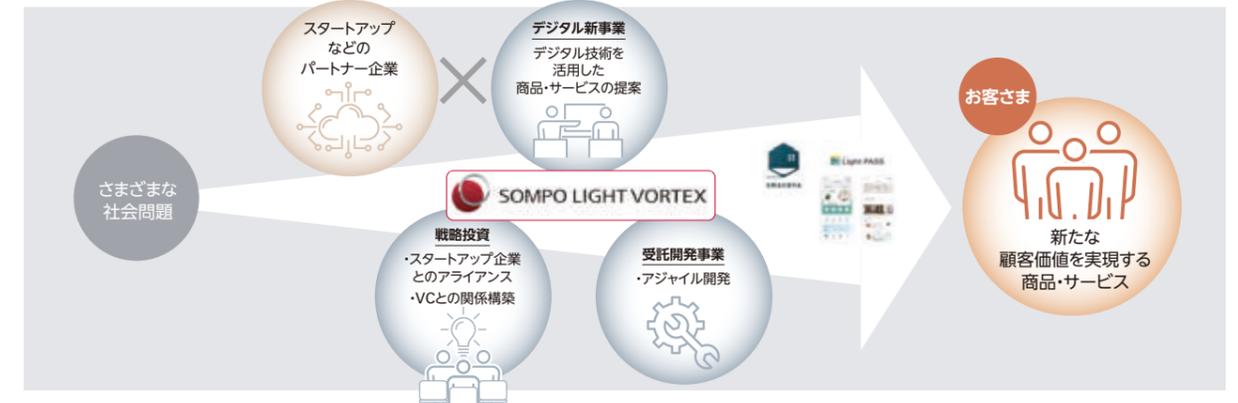
し、当社グループのデジタル・データ分野のDXに加え、保険の枠を超えたソリューション・ビジネスを行いデジタル事業としての収益拡大に取り組んでいきます。



新たな価値創造に向けた戦略

デジタル事業の中核会社であるSOMPO Light Vortexでは、SOMPOグループが掲げる「安心・安全・健康のテーマパーク」の実現を目指し、あらゆる人が健康で豊かに楽しむことのできる社会の実現のため、優良なスタートアップや事業パートナーなどとの協業によるデジタルを活用した商

品・サービスの提供を通じて、社会課題の解決を目指しています。また、モビリティやヘルシーエイジング領域における新たなサービスや空き家を活用した新たな生活体験の提供など、新たな価値の創造にも取り組んでいきます。



カルチャー変革につながる基盤強化戦略

外部人材登用

データサイエンティスト・エンジニア・UI/UXデザイナーといった専門人材の多くは外部から登用しており、内製開発チームの主力メンバーとしてビジネス部門との協業体制によりアジャイルでスピーディな開発を支えています。

人材育成 (DX人材育成)

グループ全体のDX実現は、それを成し遂げる担い手が重要であり、グループの多くの社員がデジタルを理解し、活用できる状態にする必要があります。当社グループでは、全社員がDX人材となるべく、基礎的な研修から実践的な研修まで10数個のプログラムを用意し、延べ約15,000名の社員が受講しています。

DX専門人材

高度な専門スキルを有し
企画を「形にする」人材



DX企画人材

DX企画のコア人材として組織を牽引する
企画系職員を育成 延べ約15,000名が受講



MYパーパスにもとづくチャレンジ



デジタルデータ戦略部
チーフUXデザイナー
原田 養正

私はビジネスの現場にデザイン思考を根づかせたいと考えています。ビジネス部門とともに、ユーザー調査の実施などを通じて、お客さま目線に立つことで、新しいものを作り上げていく文化を醸成していきたいです。そのために、主にエンジニアで構成される内製開発チームは、デザイン思考とアジャイル開発を武器に、グループ全体のDX推進を目的に各社と協力し行うデジタルPoCやトライアルに加え、SOMPO Light Vortexにおけるデジタル新規事業開発にも参画しています。また、各RDPプロジェクトにおいてはデータサイエンティスト・データエンジニアとの緊密な協業にも取り組んでいます。

戦略事業会社

SOMPOアセットマネジメント

SOMPOアセットマネジメント

アセットマネジメント事業では、1993年から投資価値分析にESG要素を織り込む取り組みを続けており、1999年9月に運用を開始した『損保ジャパン・グリーン・オープン（愛称：ぶなの森）』をはじめとし、ESGの観点をより強調した運用商品を積極的に展開しています。2020年3月からはESG投資の本場である欧州市場において、日本株ESGファンドの販売を開始しました。また2022年1月にネットゼロ・アセットマネージャーズ・イニシアティブ（2050年までに投資ポートフォリオからのGHG排出量ネットゼロを目指す国際的イニシアティブ）への参画を表明し、ステューワードシップ活動の一層の取組み推進、運用力の強化に努めることで持続可能な社会形成への貢献を目指しています。



フレッシュハウス

FRESH HOUSE

1都7県に30店舗の営業拠点を持つリフォーム専門会社のフレッシュハウスは、屋内・屋外を問わずさまざまなリフォーム・リノベーションに対応しています。

累計施工件数14万件を超える豊富な知見と経験を活かし、グループの有する介護事業との連携により、要介護者への在宅改修（介護リフォーム）だけでなく、総合的な住環境の改善を提案・施工することが可能です。

また、屋根の点検に赤外線サーマルカメラ搭載のドローンを活用し、年間500件の診断を実施するなど、リフォームを通じて防災・減災への取組みも行っており、神奈川県と「災害時におけるドローンによる協力に関する協定」を締結しています。



SOMPOヘルスサポート

SOMPOヘルスサポート

健康保険組合や共済組合などの医療保険者のデータヘルス計画や保健事業に対する幅広いニーズにお応えします。

全国を網羅する専門職ネットワークと最新のデジタル・ICT技術を活用した支援ツールを融合し、健康情報の提供から特定保健指導・重症化予防に至るまで健康リスクに応じたサービスを提供しています。

企業の産業保健活動においては、メンタルヘルスを中心とした専門職による支援から、ストレスチェックや生産性測定などのツール提供まで総合的なサポートが可能です。

また、健康データ分析により健康課題を把握し、健康経営およびコラボヘルスの推進を支援しています。



国内損害保険事業のグループ会社

セゾン自動車火災

SAISON INSURANCE

主力商品である『おとなの自動車保険』は、独創的な商品内容と『ALSOK事故現場安心サポート』等が評価され、おかげさまで2022年3月に保有契約件数が120万件を突破しました。『ほけんnote』や『SA・PO・PO』等のデジタルサービスとリアル接点を通して、お客様の抱える不安やリスクを明らかにし、顕在化した不安やリスクを解消する商品やサービスを一人ひとりのお客様に合わせて提供することで、安心・安全な日々をサポートできる存在を目指していきます。

SOMPOリスクマネジメント

SOMPOリスクマネジメント

デジタル事業、リスクマネジメント事業、サイバーセキュリティ事業を基盤に、安心・安全・健康のソリューション・サービスプロバイダーとしてお客様に平時より信頼をいただいております。また社会の新たな課題やリスクに対しお客様ニーズに寄り添ったソリューション・サービスを提供し、地域社会から選ばれる、なくてはならない企業となることを目指しています。

プライムアシスタンス

プライムアシスタンス

SOMPOグループのアシスタンス会社として、お客様の安心・安全・健康な生活をアシストするため、モビリティ、ホーム、ヘルスケア、海外インバウンドの各事業で、24時間365日「最上級のサービス」を提供しています。また、視覚障がい者の方向けのサポートサービスである「Eyeco Support」や、地域社会の移動サービス「NORUMO」等、「社会課題に向き合い、地域社会に貢献する新規事業」にチャレンジすることで「世の中のあらゆるお困りごとを解決・アシストするアシスタンス会社」への進化を目指していきます。

損保ジャパンパートナーズ

損保ジャパン パートナーズ

全国にサービス拠点をもち、国内最大級の保険代理店として、約100万人のお客様に損害保険ならびに生命保険を中心としたお客様の「安心」「安全」「健康」に資する総合サービスを提供しています。

お客様一人ひとりの「声」や「想い」を大切に「暮らし」に寄り添うことを定めた行動指針「お客様への誓い」の実践を通じて、お客様に喜ばれ、選ばれ続ける代理店を目指していきます。

損保ジャパンDC証券

損保ジャパンDC証券

SOMPOグループの確定拠出年金運営管理機関として、企業へのDC制度導入支援、加入者（従業員）の皆さまへの資産形成サポートサービスから口座管理に至るまで、企業型DC・個人型DC（iDeCo）に関わるすべてのサービスをワンストップで提供します。また、ロボットアドバイザーを搭載したスマホアプリ「つみたてナビ」の提供をはじめ、お客様のライフステージを通じた長期資産形成をサポートし、お客様の豊かで明るい未来の実現に貢献します。

Mysurance

MYSURANCE

SOMPOグループの少額短期保険会社として、デジタル・プラットフォームなどの異業種と連携し、旅行キャンセル保険やスマホ保険といったオンライン完結型の商品を提供しています。お客様アンケートを実施し、そこで得られた気づきをすぐに商品Webサイトに反映するなど、快適な加入・保険金請求体験を提供できるよう努めています。今後もデジタル技術を活用した体験価値を創出し、時代の変化により発生する新たなお客様ニーズにスピーディに応える保険会社を目指します。

SOMPOワランティ

SOMPOワランティ

家庭用の電化製品や住宅設備機器、携帯電話を中心に、メーカー保証終了後の一定期間に発生した製品の故障・不具合について、保証規程にもとづき修理をする延長保証サービスを提供しています。お客様の幅広いニーズにお応えするために、お客様が修理状況をリアルタイムで確認できる新サービスをリリースするなどサービス品質の向上に取り組んでいます。今後も安心・安全に資するイノベーションで最高品質の延長保証サービスを提供していきます。